

報道資料

ラジオ放送100年・北海道大学創基150周年
NHK札幌放送局・北海道大学の包括連携協定を締結
～社会的課題の解決と教育研究の振興に貢献～

NHK札幌放送局と国立大学法人北海道大学は、このたび包括連携協定を締結いたしました。本日、NHK札幌放送局の8K公開スタジオにて、NHK札幌放送局の出田恵三局長と北海道大学の寶金清博総長が出席して締結式が開かれ、協定書を取り交わしました。NHKは2025年に前身の社団法人東京放送局によるラジオ放送開始から100年の節目を迎え、北海道大学は2年後の2026年に創基150周年を迎えます。これを機に、北海道の社会的課題の解決ならびに地域社会の活性化を牽引し、また、双方の資産を生かした教育研究の振興及び人材育成に寄与することを目的として、連携・協力を進めてまいります。



<NHK札幌放送局 出田恵三局長のコメント>

北海道大学とNHKの双方には、北海道の民族・文化・自然環境の多様性と歴史が、文献や標本、映像として保管されています。互いの優れたアーカイブを活用することは歴史に学び、未来への指針となるはずで、大学の最先端の研究とNHKの地域ネットワークを組み合わせ、地域課題の解決に向け、食や農業、SDGs、GXなど幅広い分野での協働や北海道発の世界的恐竜「カムイサウルス」の共同研究など、今回の包括連携を通して、北海道大学のフロンティア精神を共有し、北海道の皆さんがワクワクする学びのプロジェクトに取り組んでいきます。

<北海道大学 寶金清博総長のコメント>

この北海道の地で互いに長い歴史を持つ北海道大学とNHKが包括連携協定に至ったことを大変嬉しく思います。本学は昨年、1876年の開学以来培ってきたアイデンティティを次の150年に向けて大きく飛躍させるべく、2030年に向けたビジョン「HU VISION 2030」を公表しました。このたびの協定により、本ビジョンに掲げる「教育・研究の卓越性:Excellence」と「教育・研究を社会に広げる展開力:Extension」の2つを基軸に、北海道から世界共通の目標である「持続可能な Well-being 社会」の実現をNHKと共に目指してまいります。